

視察研修・研修会等報告書

議席番号〔 9 〕議員名〔森 哲士〕

1 年 月 日	令和6年8月8日(木)～9日(金) (日数1泊2日)
2 場 所	新潟県十日町市 十日町市役所 他
3 観察・研修事項	大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2024
4 面 接 者	十日町市文化観光課 齋喜課長、山岸課長補佐 他 NPO 法人 越後妻有里山協働機構 原事務局長
5 観察研修、研修会の成果	下呂市で今年10月19日から11月24日まで開催される「南飛騨 Art Discovery」が行われるため先進的に行われている、新潟県十日町市で行われている「第9回、大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2024」へ現地視察に行きました。 視察先である十日町市の担当職員の方より、予算規模や芸術祭を通じた地域の活性や住民の意識もお聞きしました。 NPO 法人越後妻有里山協働機構の事務局長（2000年より参画）のガイドのもと、2日間にわたり視察を行い、芸術祭において地域住民とアーティストとの信頼関係の築き方や、住民が作品の管理を自ら行う様子などに触ることができました。 当初は住民も半信半疑で、反対の声も多かったとお聞きしたが、気づけば住民が自ら参加し地域発展に貢献し、お客様が沢山来ることにより、農地の管理等もしっかりされていました。 今回の視察を通じ、25年に及ぶ歴史の中で培われた地域振興の様子や、空き家利用、耕作放棄地の有効活用などを学ました。 芸術祭は3年に1度の周期で行われますが、25年かけた成果は、地域の再生と繁栄を象徴しています。 今後、「南飛騨 Art Discovery」が一過性のイベントに終わらないよう、この機会を活かし、持続可能な地域振興への一歩として進めて行くことが大事だと感じた。 さらに、十日町市職員の説明を受け、課題として宿泊や飲食の不足、泊まり先が市外になることが指摘されました。しかし、下呂市内には宿泊施設が各地にあり、先進的取り組みで評価された「NEXT GIHU HERITAGI～岐阜未来遺産～」も含めた持続可能な観光での連泊も可能となる、経済効果が期待できると考えます。